



ジエイコー

JCHO

北海道病院だより

No.04



「クリスマスコンサート」
平成26年12月15日(月)開催
JCHO北海道病院 グリーンモールにて

病院理念

地域の人々を中心にした質の高い医療・介護を提供し、
地域から信頼される病院になります。

基本方針

- 1.一人一人の権利を尊重し、人間愛を基調とした医療・介護を行います。
- 2.安全を第一に説明と同意に基づく医療・介護を行います。
- 3.地域との連携を推進し、求められる医療・介護を行います。
- 4.地域の健康増進をめざし、保健予防活動を推進します。
- 5.地域医療機能の推進をもって医療・医学の発展に貢献します。



年頭の挨拶

JCHO北海道病院 院長 河田 哲也

あけましておめでとうございます。新たな年を迎え皆様のご多幸とご健康を祈念いたします。

昨年の明るい話題として、日本人のノーベル賞受賞に湧きました。このところ連続するように受賞者が我が国から輩出され、これまでの日本の教育重視の姿勢が永い年月を経て現れた形です。今回はLED照明という大変身近な発明への貢献ということで、とりわけわかりやすく納得のゆくものでした。

一方年明け早々のニュースとして、8年連続で日本の人口が減りその速度が加速しているとのことです。札幌にいますとまだ実感はないのですが、一步離れると人口が減っている市町村が軒並み見受けられます。そうした人口減少社会を見据えて医療や介護を含め、これまでの成長型の社会からどのような社会システムとしてゆくかが問われています。

今後ますます進む少子高齢化の流れの中、これまでの社会構造を作り変えるべく様々な議論がなされ、施策が実施されつつあります。世界的に見ても我が国は教育の行き届いた、社会福祉制度や家族制度がしっかりした国です。さらに、震災復興で見せた日本人の培ってきた社会的システムや生活スタイルが世界的にも評価されています。人口減少へ向かっても、必ずしや世界に冠たる超高齢先進国家として新たな経済、社会システムを作って行けるものと確信しています。

当院もこうした流れの中で昨年より独立行政法人化され、地域医療・介護の充実と効率化を進めるべくその使命を与えられています。地域に根ざし住民の皆様から望まれる医療と介護を、各医療機関との連携を深めて実践すべく日々努力いたしております。また僻地医療機関への人員派遣を積極的に行い、その底上げと連携を図っています。特に「地域医療支援病院」としての指定を受けて、皆様のかかりつけ医療施設よりご紹介をいただき、効率よく検査や治療を行うべく取り組みを強めてまいります。

こうした地域医療の中での当院の使命を鑑みて、特に新年よりは検査・治療部門と入院診療の充実をはかるべく外来診療の効率化の方向へと動き始めます。重複検査や重複処方などを避け、効率的な診療が行えるよう、当院への初診に際しては必ず紹介状をご持参いただくようお願いいたします。また再来での外来通院治療におきましても、当院よりの逆紹介にて通院に便利な近隣の医療機関への紹介をすすめてまいりますので、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

本年も当院へのご意見等をたくさんお寄せください。皆様に望まれ、より地域に根ざした病院として地域の医療と介護をしっかりと支えて参る所存ですので、よろしく願い申し上げます。

Information

JCHO北海道病院は、平成27年4月より 外来診療の紹介と逆紹介体制を強化いたします

JCHO北海道病院は当地域の中核的な急性期病院として、平成25年に「地域医療支援病院」の承認を受けました。そのため、当院では主に「かかりつけ医」からの紹介を中心とした専門的治療・検査、入院診療に重点を置いて参ります。

●具合が悪い時にかかれるお近くの「かかりつけ医」をお持ちください。

病状の悪化や、より詳しい検査が必要になった場合は「かかりつけ医」が当院に紹介状を書き、より高度な検査や治療を提供させていただきます。

当院での治療により病状が安定した患者さんは、「かかりつけ医」に逆紹介させていただきます。その際は当院での治療経過や検査結果などを詳細に記載した診療情報提供書をお渡しします。

●当院を初めて受診される初診の患者さんは、原則として紹介状をお持ちください。

紹介状を持たない患者さんはお近くの医療機関を紹介させていただく場合もあります。ただし、緊急性のある病状についてはその限りではありません。また、健康診断で要精密検査と書かれた結果をお持ちの方は紹介状がなくても構いません。

*耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、小児科などは、これまでと同様に診療いたします。

*皆様のご理解をいただき、より質の高い診療を目指して参ります。

●紹介状をお持ちの患者さんは受診予約ができます。

【紹介状をお持ちで初診の予約連絡先】地域連携相談室

電話 0120-515-830(直通) 電話対応時間 平日8:30~17:00

その他ご不明な点がございましたらお問い合わせください。

JCHO北海道病院

JCHO北海道病院 附属施設介護予防センターの紹介



札幌市豊平区介護予防支援センター中の島 大羅 翼

札幌市豊平区介護予防センター中の島は、札幌市からJCHO北海道病院が委託を受け、附属介護老人保健施設に事業所を設置しています。

札幌市内には、53箇所の介護予防センターがあり、当事業所は、豊平区中の島地区と平岸地区(一部除外地域あり)を担当地域として活動しています。活動内容としては、地域の高齢者を対象とした介護予防事業、地域支援事業、また地域の高齢者やその家族等を対象とした総合相談を行っています。

ここで、主な活動内容についてご紹介させていただきます。

介護予防事業では、地域の会館やマンションの集会所などで介護予防教室を開催しています。「認知症予防」や「転倒予防」を中心に、毎回テーマを設けて行います。老健や病院の職員を講師とし、「音楽療法」や「感染症予防」等様々なテーマで、専門的な知識を伝達する講演を行うこともあります。最近では、町内会やマンション管理組合からの講演依頼も増え、介護予防の普及啓発活動の必要性は高まっています。

地域支援事業では、地域で活動している団体の支援を行っています。町内会のイベント支援等、地域の方とネットワークを深める大切な活動です。また、老人クラブや高齢者サロンに定期的に訪問し、血圧測定や健康講話・体操なども行っています。

総合相談では、地域の一番身近な相談窓口として、電話・訪問・来所等、様々な形で相談を受けています。主に寄せられる相談は、介護保険や健康についてが多いです。本人や家族からの相談だけでなく、知人や近隣住民、地域で活動されている民生委員や福祉まち推進センターの方からも相談が寄せられます。受けた相談については、関係機関と連携を図るなど問題解決に努めています。

当センターでは、地域の皆様と協力を図りながら、誰もが安心して暮らせる地域を目指して活動しています。お困りごとや介護予防に関すること等、なんでも気軽にご連絡下さい。

お問い合わせはこちらまで↓

札幌市豊平区介護予防センター中の島
TEL:011-813-3311



JCHO北海道病院 附属居宅介護支援センターの紹介



居宅介護支援センター 和田 賢太

今回、病院附属の居宅介護支援センターについての紹介をしたいと思います。

正式名は、JCHO北海道病院附属居宅介護支援センターと言い、JCHO北海道病院附属介護老人保健施設(ジェイコー中の島)内に事業所があります。

居宅介護支援センターは、介護支援専門員(ケアマネジャー)が地域に住む高齢者を対象に、総合相談や要介護の新規・更新の代行申請。また契約を交わした上で、利用する本人や家族の希望を確認し、デイケアやショートステイ、ヘルパーなどの介護サービスが利用できるような介護サービス計画(ケアプラン)を作成、サービス調整を行います。

対象地域は豊平区、南区、中央区で、利用されている方はJCHO北海道病院利用の患者さまや地域の方がいらっしゃいます。

今後共、医療関係者の皆さんと連携を図っていきたくと思っていますので、訪問した際はよろしくをお願いします。

また地域の居宅介護支援センターとして努力していきますので、こちらも合わせてよろしくをお願いします。

Q&A

Q:JCHO北海道病院やジェイコー中の島を利用していないと、相談や介護支援専門員の依頼はできませんか?

A:介護支援専門員は、公正中立に業務を行なわなければいけないという決まりがありますので、JCHO北海道病院やジェイコー中の島を利用しなくても、相談やケアマネジャーの依頼は可能です。

Q:相談の費用は?

A:相談の費用はかかりません。何かありましたら、ご相談下さい。

JCHO北海道病院附属居宅介護支援センター

011-813-2222(ジェイコー中の島内)

病院機能評価の認定(更新)について

平成27年1月5日付で、公益財団法人 日本医療機能評価機構より病院機能評価3rdG:Ver. 1.0の認定証(更新)の交付を受けました。これからも病院機能の質改善に取り組んで参りますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





しっかりとってイキイキ健康!! ♪食物繊維のとり方♪

栄養管理室長 山田 朋枝

食物繊維は、便秘や生活習慣病の予防に重要な役割を果たしていることはご存知のことと思います。2010年版日本人の食事摂取基準では、食物繊維は女性17g以上、男性19g以上を目標としています。しかし、平成22年度の国民栄養調査結果によると、どの年代でも不足しているという結果が出ています。2015年度から適用される日本人の食事摂取基準では、食物繊維の摂取不足が生活習慣病の発症に関連するという報告が多くあることから、目標量は女性18g以上、男性20g以上になります。目標量の算定に用いられた研究の多くは、通常の食品に由来する食物繊維であることから、サプリメント等には頼らず、通常の食品で摂ることが大切です。

食物繊維の摂取量は、動脈硬化性疾患予防ガイドラインでは“できるだけ多く”、糖尿病治療ガイドでは“多く摂取するように努める(1日20~25g以上)”とされていますので、ここでは1日20~25g摂るコツを紹介したいと思います。

①1日3度の食事で「主食」を必ずとる

穀類には不溶性食物繊維が豊富に含まれます。主食は抜かず、ご飯やパン・麺類など主食をしっかりと食べましょう。白米を玄米に変える、うどんよりそばを食べる等を心がけると、より多く摂取することが出来ます。

②副菜に野菜中心のおかずを取り入れる

パン、麺類だけでなく1食に1、2品は野菜類のおかずを食べるようにしましょう。

③野菜は生より加熱してとる

生にこだわる必要はありません。加熱するとたくさん食べることが出来ます。

④果物を1日1個食べる

バナナなら1本、リンゴなら半分、みかんなら2個が1日の目安です。

⑤その他の繊維の多い食品を取り入れる

野菜やきのこ、海藻をたっぷり食べることが大切ですが、おからやきのこ、豆類なども積極的に食べましょう。

いかがですか?毎日の心がけで食物繊維をしっかりと摂り、生活習慣病を予防できたら…そんな幸せなことはありません。健康への切り札となりうる食物繊維を毎日の食生活でしっかりと摂れるよう工夫したいものです。

1日3度の食事で「主食」を必ずとる



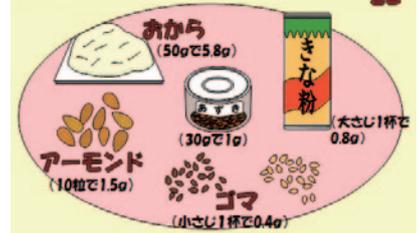
副菜に野菜中心のおかずを取り入れる



野菜は生より加熱してとる



その他の繊維の多い食品を取り入れる



こどもデイサービスセンター

外来看護師長 大石 さつき



子供デイサービスセンターは札幌市が子育てと就労の両立支援を目的として行っている事業です。札幌市内には現在5つの施設で実施されています。

利用対象のお子さんは

- ① 生後5ヶ月から小学校3年生までのお子さん
- ② 病気の回復期にあり集団生活が困難なお子さん
- ③ 保護者が勤務の都合、傷病、事故、出産及び冠婚葬祭などの理由により家庭で保育できないお子さん
- ④ かかりつけ医療機関の医師が利用について差し支えないと認めている

以上の4点全てに該当するお子さんが対象です。



お預かりする病気・症状は、

- ① 感冒、消化不良症、などお子さんが日常かかる病気
- ② 麻疹、水ぼうそう、風しんなどの伝染性の病気
- ③ ぜんそくなどの慢性的な病気
- ④ やけどなどの外傷性の病気

利用定員は4名で予約制となっております。

利用時間は8時から18時

※ただし日曜日、祝祭日、8/15及び12/30 ～翌年1/3日までは休み

予約時間は 月～金 8時～17時 土曜日 8時～12時となっております。

利用料金は

生活保護世帯、市民税非課税世帯は無料

所得税非課税世帯は1500円

そのほかの世帯は3000円 となっております。

給食費はおやつも含む300円(全世帯)です。

利用には事前登録が必要です。「児童登録票」を当施設に郵送または持参し登録が完了します(詳細は札幌市ホームページをご覧ください)

登録終了後、お子さんが病気などで利用が必要になったら、利用希望日の前日までに電話で予約をします。(当日急に利用が必要な場合もお電話ください)利用には札幌市内のかかりつけ医に利用連絡書を記載してもらい、利用当日当施設に持参ください。

隔離が必要な伝染病のお子さんとそのほかのお子さんとは別にお預かりします。看護師、保育士の資格を持つ専門スタッフがお子さんの健康状態の管理、保育、服薬の介助、給食の提供等を行います。

症例検討会のお知らせ

JCHO北海道病院では、地域の先生方との研修・交流の場として症例検討を中心とした勉強会を開催しています。

第2回 札幌南腎臓談話会
日 時:平成27年2月19日(木) 18時30分～
場 所:JCHO北海道病院 3階講堂

第39回 札幌南部呼吸器懇話会
日 時:平成27年3月12日(木) 18時30分～
場 所:JCHO北海道病院 3階講堂

第2回 周産期母子医療センター勉強会
日 時:平成27年2月25日(水) 18時30分～
場 所:JCHO北海道病院 3階講堂

第39回 リバーサイド消化器懇話会
日 時:平成27年3月17日(火) 18時30分～
場 所:JCHO北海道病院 3階講堂

詳細は地域連携相談室までお問い合わせください。

研修会を実施しました

第25回

豊平・清田・南区循環器懇話会

日 時:平成26年11月25日(水) 19時00分～
場 所:JCHO北海道病院 3階講堂
参加者:院外18名 院内23名

講 演:『外科からみた心不全治療』
北海道大学大学院医学研究所
循環器・呼吸器外科教授 松居 喜郎 医師



第1回

周産期母子医療センター勉強会

日 時:平成26年12月17日(水) 18時30分～
場 所:JCHO北海道病院 3階講堂
参加者:院外11名 院内21名

講 演:『分娩管理における臍帯血ガス分析の意義』『マタニティ・ヨーガ』
JCHO北海道病院
産婦人科部長 山田 俊 助産師 千葉 香苗・岩倉 美樹



災害救急指定日

平成27年 2月10日(火)
2月28日(土)
3月11日(水)
3月28日(土)



JCHO北海道病院 地域連携相談室

〒062-8618 札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18

TEL 011-831-5151(病院代表) URL <http://hokkaido.jcho.go.jp>

〈医療機関専用：地域連携相談室直通〉

TEL 0120-515-830 / FAX 011-815-1005

